

鉄道高架切替と新武雄温泉駅開業



2月16日(土)、17日(日) 鉄道高架を記念し武雄やきもの市が、17日(日)には高架切替式と新駅開業式が武雄温泉周辺で行われました。昭和42年、武雄市議会で決議されて以来40年の歳月を経て切替の運びとなりました。

この高架切替により、8つの踏切が除去されることから、車や人の流れがスムーズになり、南北に分断されていた市街地の一体的な発展が期待されています。

また、新武雄温泉駅は、辰野金吾博士が設計した東京駅をイメージし、レンガ調の落ち着いた外観となっており、ユニバーサルデザインを取り入れています。

平成21年夏頃には、仮設駅や仮路線を撤去し、駅全体が完成する見込みです。

新幹線五市サミット

2月20日(水)九州新幹線長崎ルート沿線自治体五市の首長による「新幹線五市サミット」が四季のそらで開催されました。

南九州など他の地域と比較して、西九州の観光客の減少を踏まえ、現在の問題点や、今後の新幹線を活用した広域的政策などの意見を出し合いました。

これからは、沿線自治体が点ではなく面となって協力しあい、西九州の観光客の増加や、産業の発展のため努力していくこととし、合意書にサインを交わしました。

今後、一年間で2回程度、このサミットを開催していく予定です。



飛龍窯 窯出し展



2月22日(土)、23日(日) 飛龍窯で窯出し展が行われました。2月9日より4日間かけて炊き上げた全作品1500点を展示。また、市内窯元による販売や、地元特産物の販売も行われました。特設ステージでは、よさこい踊りや真手野の舞浮立、ブラスバンド演奏などがおこなわれ、花をそえました。小雪が降る寒い中、たくさんの人たちが飛龍窯で焼き上げられた作品に目を向けていました。